

日本学生支援機構提出用
※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

賃貸借契約証明書（個人間）
兼居住証明書

所在地：

物件名：

契約者：

※

居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

入居者：

契約期間：

始期：西暦

年

月

日

終期：西暦

年

月

日

賃料：

円／月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦

年

月

日

貸主：

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は家主）
が証明して下さい。

住所：

連絡先電話番号：

(26.2)

日本学生支援機構提出用
※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

個人間契約書
として使用する場合

賃貸借契約証明書（個人間）
兼居住証明書

①所在地：

東京都目黒区駒場4-5-29

①物件名：

駒場マンション3階301号

②契約者：

育英 花子

【記入上の注意】
① 個人間契約を交わした物件の所在地・物件名を記入してください。物件名がない場合は空欄で構いません。
② 個人間契約の借主の氏名を記入してください。
③ 当該物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。
④ 貸主(家主)との間で契約した賃貸借契約期間を記入してください。
⑤ 貸主(家主)との間で契約した月額賃料を記入してください。

※ 居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

③入居者：

育英 友

④契約期間：

始期：西暦

2026

年

4

月

1

日

終期：西暦

2028

年

3

月

31

日

⑤賃料：

30,000

円／月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦

2026

年

4

月

5

日

⑥貸主(家主)が証明してください。
⑦押印必須です。

⑥貸主：

奨学 太郎

⑦

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所：

東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号：

03-2222-2222

日本学生支援機構提出用
※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

居住証明書
として使用する場合

賃貸借契約証明書（個人間） 兼居住証明書

① 所在地：	東京都目黒区駒場4-5-29	【記入上の注意】 ① 賃貸借契約書記載の所在地・物件名を記入してください。 ② 賃貸借契約書記載の借主（賃借人）氏名を記入してください。 ③ 当該物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。 ④ 賃貸借契約書記載の契約期間を記入してください。賃貸借契約書の契約期間外の証明として使用する場合は、給付始期を含め元々の契約期間の始期から更新後の契約期間の終期までを記入してください。 ⑤ 賃貸借契約書記載の家賃を記入してください。
① 物件名：	駒場マンション3階301号	
② 契約者：	育英 太郎	

※ 居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

③ 入居者：	育英 友
--------	------

④ 契約期間：	始期：西暦	2026	年	4	月	1	日
	終期：西暦	2028	年	3	月	31	日

⑤ 賃料：	30,000	⑥ その他の記入例 元々は生計維持者と同居していて、契約途中から生計維持者のみ転居した等で自宅外要件を満たした場合 「2026年7月より入居者は上記1名である」など
⑥ 特記事項：	契約期間始期より上記入居者のみが入居している。	

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および

当該物件に入居者が入居していることを証明します。

⑦ 賃貸借契約書に記載されている貸主、管理会社又は仲介業者が証明してください。不動産業者が変更されている場合、その変更が分かる書類（通知文書やHP掲載内容の印刷物等）と併せて提出してください。
⑧ 押印必須です。

西暦 2026 年 4 月 5 日

⑦ 貸主： 株式会社 支援機構不動産
代表取締役 奨学 一郎

⑧ 印

※ 賃貸借契約書上の貸主（知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222